

# 令和4年度自己点検・自己評価の結果概要

## 1 自己点検・自己評価の取り組みの経過

本校は、平成24年度に自己評価委員会を設置し、「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」に基づき、自己点検・自己評価を実施している。平成30年度からは、学校関係者評価を実施し、外部の関係者からの評価及びご意見をいただき、学校運営に対する評価を行い、学校活動全般に関する質の向上を目指している。

また、令和2年度には点検項目の見直しを行い、指針に準じた大項目9に対する、本校の運営に即した小項目を69とし、評価基準を3段階から4段階に変更した。

## 2 自己点検評価等により課題とされた事項への主な取り組み

令和3年度の結果を受け、令和4年度は学校の組織目標に以下を組み込んで取り組みを行うこととした。

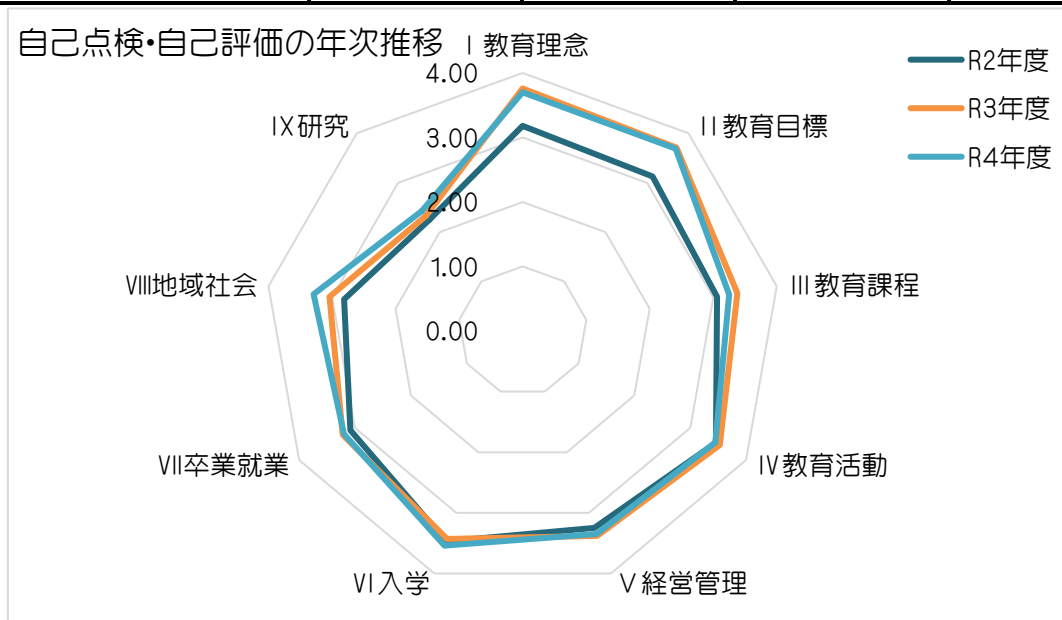
- ① 新カリキュラムを予定通りに実施し評価する。
- ② 臨地実習における学生の安全教育、安全対策を強化する。
- ③ 教員が授業準備のための時間をとれる体制を検討する。
- ④ ICT教育の推進とそれに伴う教材・施設設備の整備を行う。
- ⑤ 地域社会における学校のあり方や活動を検討し、地域貢献できる。
- ⑥ 卒業生の活動状況を把握し、看護基礎教育に反映できる方法を検討する。

## 3 令和4年度自己点検・自己評価結果

【評価結果】

表1 年度別の評価集計結果

| 大項目          | R4年度 | R3年度 | R2年度 | R元年度 |
|--------------|------|------|------|------|
| I 教育理念・教育目的  | 3.7  | 3.76 | 3.18 | 2.50 |
| II 教育目標      | 3.69 | 3.71 | 3.13 | 2.58 |
| III 教育課程     | 3.25 | 3.38 | 3.06 | 2.35 |
| IV 教育活動      | 3.45 | 3.53 | 3.46 | 2.53 |
| V 経営管理       | 3.35 | 3.38 | 3.25 | 2.65 |
| VI 入学        | 3.54 | 3.43 | 3.47 | 2.67 |
| VII 卒業・就業・進学 | 3.20 | 3.22 | 3.08 | 2.23 |
| VIII 地域社会    | 3.29 | 3.04 | 2.81 | 2.31 |
| IX 研究        | 2.43 | 2.33 | 2.25 | 1.69 |
| 全体平均         | 3.32 | 3.31 | 3.07 | 2.39 |



- 全体として昨年度とほぼ同様の結果となった。
- 大項目では、Ⅸ研究を除き、全て3点以上の評価だった。
- 大項目Ⅰ教育理念・教育目的、Ⅱ教育目標、Ⅲ教育課程は昨年新カリキュラム構築にあたり、教員が十分な検討を行ったためと考える。
- Ⅲ教育課程のうち、「教員が授業準備のための時間が取れる体制が整えている」は平均点1.92となった。職員の定員不足の影響が大きかった。学生に影響を及ぼさないよう調整した結果、授業準備時間や自己研鑽の時間の不足につながったと考える。人員の増員は難しく、現教員数の中で少しでも余裕を持って教育活動が行えるように、教員個々が業務改善に取り組んでいきたい。
- 医療安全対策の推進を目標に掲げていたが、思うように活動が推進できなかった。次年度は計画的に戦略を立てて実施していきたい。
- Ⅳ教育活動は、昨年度より平均点が下がった。支援が必要な学生に対して、タイムリーで十分な支援ができていないことが課題となっている。
- Ⅴ経営管理の中の財務に関する項目は、事務と教員が情報共有したことにより評価が上がった。ICT教育推進に向けて、ICT委員会を中心に限られた財源の中で環境を整えることができた。今後も計画的にICT教育推進とICTを活用した業務改善を進めていきたい。
- Ⅶコロナ禍で2年間地域との交流を縮小していたが、今年度はフィールドワーク、ボランティアを通して地域とのつながりを持った。今後も継続していきたい。
- Ⅸ研究も例年低評価となっているが、今年度は研修会、学会への発表ができた。

#### 4 今後にむけて

令和4年度の取り組み及び自己点検・自己評価の結果を受け、令和5年度は次の取り組みを行う。

- ① 新カリキュラムを予定通りに実施し評価する。
- ② 臨地実習における学生の安全教育、安全対策を強化する。
- ③ 業務改善を行い、教員が授業準備・自己研鑽のための時間をとれる体制を作る。
- ④ 学生個々に合わせた学習支援をタイムリーに行う。
- ⑤ 学生の学習方法の多様化と業務改善推進に向けてICT活用を促進する。
- ⑥ 教員個々が自己の役割を認識し、チームの中で力を発揮する体制を整える。

第5次カリキュラム運用2年目に向けて準備を進めている。本校の特徴を活かしながら主体的な学びを推進していきたい。

併せて学校関係者評価においていただいた、多くの貴重なご意見・評価を踏まえ学校運営全般の質の向上を図っていきたい。